

# わが家の簡易耐震診断票

## 在来軸組構法の木造住宅用

右の説明を見ながら、次のA～Fの各評点をつけましょう。

診断項目		評点			A
基礎	地盤	良い・普通	やや悪い	非常に悪い	
A 地盤・基礎	鉄筋コンクリート造の連続した基礎	1.0	0.8	0.7	A
	無筋コンクリート造の連続した基礎	1.0	0.7	0.5	
	ひびわれのあるコンクリート造の連続した基礎	0.7	0.5	0.3	
	その他の基礎（玉石、石積、ブロック積）	0.6	0.4	0.2	
B 建物の形	上から見ても横から見ても整っている	1.0			B
	上から見て凸凹している	0.9			
	1階に壁のない空間がある	0.8			
C 壁の配置（バランス）	全ての外壁面で壁が1/5以上	1.0			C
	一部の外壁面で壁が1/5未満	0.9			
	一部の外壁面で壁が全くない（全開口）	0.7			
D 壁の筋かい	筋かいあり	1.5			D
	筋かいなし・わからない	1.0			
E 壁の割合	右図の壁の割合参照	1.5			E
		1.2			
		1.0			
		0.7			
		0.3			
F 建物の傷み具合（老朽度）	健全	1.0			F
	老朽化している	0.9			
	腐ったり、シロアリに喰われている	0.8			

## 説明

簡易耐震診断票の各評点のつけ方

### A 地盤・基礎

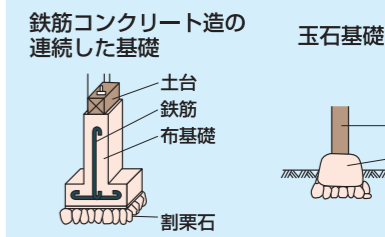
地盤の状況と基礎の形状により、該当する評点をつけてください。（基礎）

【地盤】

- 良い・普通…岩盤、砂れき層、洪積台地
- やや悪い…30mよりも浅い沖積層、埋立地及び盛土地で大規模な造成工事（転圧・地盤改良）によるもの
- 非常に悪い…30mよりも深い沖積層（軟弱層）、海・池・沼・水田などの埋立地、丘陵地の盛土地で小規模な造成工事によるもの

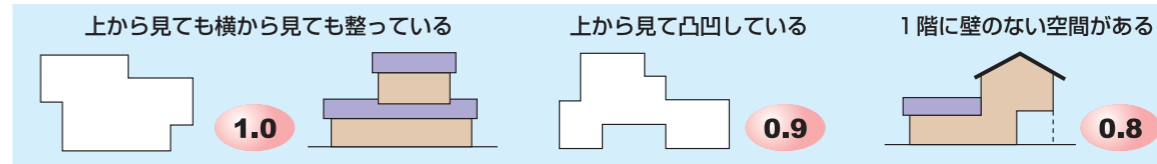
【基礎】

鉄筋が入っているかどうか分からない場合は、鉄筋がないものとしてください。

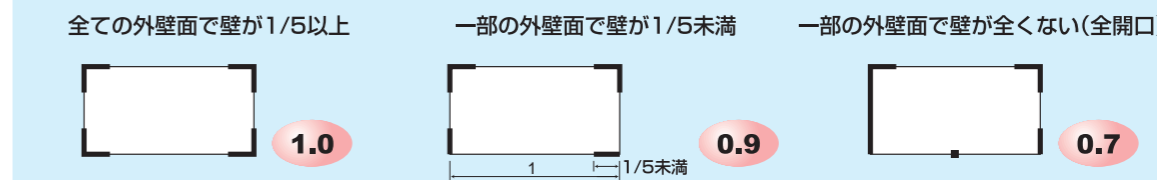


### B 建物の形

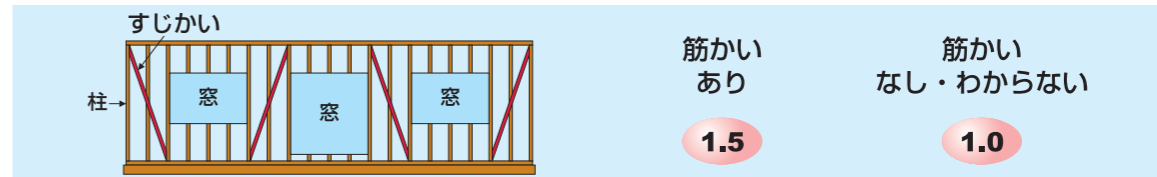
- 建物を上から見たとき、おおよそ四角いか、凸凹しているかで判断してください。
- 建物を横から見たとき、2階が1階より張り出しているところがあるかで判断してください。



### C 壁の配置（バランス）



### D 壁の筋かい



### E 壁の割合

- 1階部分について、下の図を参考に壁の量をだまかに判断し、評点を決めてください。
- 2階建ての場合は、「2階建」の数値を使ってください。

平屋	2階建	平屋	2階建	平屋	2階建	平屋	2階建	平屋	2階建
1.5	1.2	1.5	1.0	1.2	0.7	1.0	0.5	0.7	0.3

### F 建物の傷み具合（老朽度）

- 健全 1.0**
  - 新築後まもないもの
  - 新築時の良い状態が続いているもの
- 老朽化している 0.9**
  - 屋根の棟の線や軒先の線が波打っているもの
  - 柱に傾きがあり、建具のたてつけが悪くなっているもの
- 腐ったり、シロアリに喰われている 0.8**
  - 腐ったり、シロアリに喰われている
  - 土台をドライバーで突いてみて、ガサガサになっている。（特に建物の北側と風呂場周り）

## 総合判定 (A～Fの各評点をかけ算して総合評点を求めましょう。)

$$A \times B \times C \times D \times E \times F = \text{総合評点}$$

総合評点	判定	今後の対応
1.5以上	安全	安全と思われませんが、今後とも維持管理を十分に行ってください。
1.0以上1.5未満	一応安全	専門家による診断を受け、耐震性を確認してください。
0.7以上1.0未満	やや危険	
0.7未満	倒壊の危険あり	専門家による診断を受け、補強方法について相談してください。